

江田島市教育委員会事務点検・評価報告書
(平成29年度事業対象)

平成30年6月
江田島市教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の結果（7事業）	
	・教職員の服務規律の厳正確保を図る	2
	・児童生徒の学力の向上を図る	4
	・児童生徒の豊かな心を育成する	5
	・江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる	6
	・歴史資料館の活性化を図る	7
	・公共スポーツ施設の利用促進を図る	8
	・図書館の充実を図る	9
3	外部評価委員の意見	10
4	その他	14
資料1	平成29年度江田島市教育委員会 経営計画	17
資料2	平成29年度江田島市教育委員会 自己評価表	19

1 教育委員会の点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することを義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、江田島市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

なお、同法の規定の「教育に関し学識経験を有する者」については、本市では、外部評価委員（3名）とし、教育委員会自らが行った点検・評価の結果に対して、意見をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象年度

平成29年度

(3) 点検・評価の対象事業

教育委員会は、平成28年度末の現状を分析した上で、特に重点を置いて取り組みたい7事業を定め、平成29年度江田島市教育委員会経営計画としてまとめました。

平成29年度に実施したこれら7事業の取組を点検・評価の対象とします。

平成 29 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	教職員の服務規律の厳正確保を図る。
短期経営目標	教職員による不祥事を 0（ゼロ）にする。

1 短期経営目標（具体）

平成 29 年度の懲戒処分件数を 0 件にする。

2 取組・方策

○校長会、教頭・事務長会等において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行った。

（実施した詳細については、別紙の通り）

○5 月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行った。

・以下の 2 点について取り組み、実施率は 100%であった。

①管理職は、目標管理に係る業績評価（自己申告）における当初申告の面談時に不祥事根絶に係る指導を行う。

②服務研修（校内研修）において、過去に江田島市で生起した懲戒処分事案を扱う。

○全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施した。

・各学校の実施率は 100%で、体罰、セクシュアル・ハラスメントに該当する事案はなかった。

3 評価

評価指標	懲戒処分件数
実績値（平成 28 年度）	0 件
目標値（平成 29 年度）	0 件
総合評価	0 件
定めた取組・方策を計画的に実施し、目標を達成した。	

4 改善策

今後も、校長会、教頭・事務長会において、「服務規律の確保」に関して講話を行う等、取組を行う。

平成 29 年度江田島市教育委員会主催研修における服務研修一覧

月	日	曜日	研修名	内 容
4	6	木	校長会	服務規律の確保について
	25	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
5	10	水	校長会	服務規律の確保について
	23	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
6	1	木	校長会	服務規律の確保について
	9	金	第 1 回初任者研修	教職員の服務について
7	4	火	校長会	服務規律の確保について 夏季休業中の服務管理について
	18	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
9	7	木	校長会	服務規律の確保について
	12	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
10	4	水	校長会	服務規律の確保について
	10	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
11	7	火	校長会	服務規律の確保について
12	1	金	校長会	服務規律の確保について
	5	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
1	10	水	校長会	服務規律の確保について
	16	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
2	6	火	校長会	服務規律の確保について
	20	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
3	2	火	校長会	服務規律の確保について

平成 29 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の学力の向上を図る。
短期経営目標	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

広島県「基礎・基本」定着状況調査（タイプⅡ）において、全ての教科で県の平均通過率を5ポイント以上上回る。

2 取組・方策

- 学力向上に係る研修を実施した。
 - ・「学びの変革」推進協議会を設置し、各校の教務主任・研究主任及び会場校（パイロット校）の教員を対象に、広島版「学びの変革」アクション・プランを踏まえた課題発見・解決学習の進め方に係る協議・演習を行った。（6月16日、10月17日、1月24日）
 - ・主催研修において学力向上に係る研修や広島版「学びの変革」アクション・プランに係る講義・演習を行った。
 - 【第1回初任者研修】 【第1回教務主任研修・第1回研究主任研修】
 - 【特別支援教育コーディネーター等研修】 【第2回教務主任研修】
- 学力調査（全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査）の結果の分析を行い、ホームページ及び広報（11月）で公表した。
- ICT活用事業、理科教育推進事業として、市町の挑戦加配を活用し、チーム・ティーチングによる計画的な授業を実施した。
- 先進校（三重県松阪市立三雲中学校等）を各小中学校の教諭1名が視察した。（11月21日、22日）報告書を作成し、各学校で活用した。

3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査（タイプⅡ）の平均通過率				
実績値（平成28年度）	小学校5年生 国語 +10.6, 算数 +4.1, 理科 +5.6 中学校2年生 国語 +6.2, 数学 +3.4, 理科+0.7, 英語▲1.9				
目標値（平成29年度）	全ての実施教科で県平均通過率を5ポイント以上、上回る。				
総合評価	平成29年度広島県「基礎・基本」定着状況調査（タイプⅡ）結果				
		小学校		中学校	
		江田島市	広島県	江田島市	広島県
	国語	55.4 (+3.0)	52.4	63.1 (-0.9)	64.0
	算数・数学	69.6 (+4.2)	65.4	59.1 (+1.7)	57.4
理科	54.8 (+3.8)	51.0	50.4 (+5.1)	45.3	
英語			65.6 (+5.7)	59.9	
	※（ ）内は、県平均通過率との差				
○小学校は、全ての教科で県平均通過率を上回ったものの、5ポイント以上上回ることはできなかった。					
○中学校は、理科、英語においては目標を達成できたが、国語、数学において県平均通過率を5ポイント以上上回ることはできなかった。					

4 改善策

- 「学びの変革」推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行う。
- 各校で学力調査を実施・活用させ、学力の定着・課題の克服が図られるよう指導助言を行う。

平成 29 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の豊かな心を育成する。
短期経営目標	不登校児童生徒数を減少させる。

1 短期経営目標（具体）

不登校児童生徒数の割合を小学校 0.00%（0人）、中学校 1.24%（5人）以下にする。

2 取組・方策

- 校長会、教頭・事務長会で、問題行動等生徒指導上の諸問題の発生状況を示すとともに、未然防止の取組について指導した。
- 生徒指導主事・保健主事研修（7月3日）で、講師としてスクールカウンセラーを招聘し、児童生徒の心に寄り添う生徒指導の在り方について研修を行った。また、生徒指導規程に基づいた自己指導能力の育成についても研修を行った。
- 道徳教育推進教師等を対象とした心の教育担当者研修（7月28日）で、外部講師を招聘し、自他のよさや違いを認め合い、人とつながり共に高め合う児童生徒育成の在り方について研修を行った。
- 9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行った。
 - ①いじめ撲滅に向けた児童会・生徒会を中心とした児童生徒の主体的な活動を実施。
 - ②全児童生徒を対象に行った「いじめアンケート」の結果を分析し、今後の取組方法を検証。
 - ③いじめの未然防止に向けた広報活動を実施。
 - ア いじめ防止対策推進法に基づく「学校いじめ防止基本方針」及び各校の「いじめ防止委員会等設置要綱」をホームページに掲載。
 - イ いじめ相談窓口を学校便り等で周知するとともに、ホームページに掲載。
 - ウ 学校便り等で、「いじめ撲滅月間」の取組の紹介。
- ふるさと実感事業実施計画書に基づき補助金を交付し、各学校が取組を進めた。

3 評価

評価指標	不登校児童生徒数の割合
実績値（平成28年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校 0.00%（0人）、中学校 1.60%（7人）
目標値（平成29年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校 0.00%（0人）、中学校 1.24%（5人）以下
総合評価	不登校児童生徒数の割合 小学校 0.12%（1人）、中学校 2.73%（11人）

小学校、中学校ともに達成できなかった。

4 改善策

- 市主催研修（管理職、生徒指導主事等対象）において、生徒指導体制の確立における講話を行う。
- 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数が30日を超える前の段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。

平成 29 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。
短期経営目標	学校給食の地場産品の使用割合を増加させる。

1 短期経営目標（具体）

地場産品の使用割合を 36%以上にする。

2 取組・方策

- 野菜や魚介等の食材を発注する際、地場（県内）産品を指定した。
- 豆腐、みそ、醤油等の食材は、市内の生産者に計画的に発注した。
- 毎月 1 回発行する学校給食だよりで、地場産品の使用を周知した。
- 「おいしい江田島の日給食」を年 2 回（6 月、11 月）実施し、江田島産品を積極的に使用した。
- 市長部局（健康推進課）と連携し、「えたじまん食育レシピ」2 万食プロジェクトを実施した。
- 「ひろしま給食 100 万食プロジェクト」に参加（10 月 20 日）し、県内統一メニューによる広島ならでの給食を配食した。
- 大柿町「芋づくり研究会」、大柿町味づくり研究会」や能美町「江田島万次郎カボチャの会」など、地元農業団体と食材の購入契約を締結し、購入した。

3 評価

評価指標	地場産品の使用割合
実績値（平成 28 年度）	34%
目標値（平成 29 年度）	36%
総合評価	地場産品の使用割合 41.6%
目標値 36%に対し実績値 41.6%で目標を達成した。	

4 改善策

- 産業部産業企画課と連携し、地場産品を使用した献立を作成する。
- 地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。

平成 29 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	歴史資料館の活性化を図る。
短期経営目標	学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

<p>学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。</p> <p>〔 目標 学びの館 9,000 人 〕 〔 大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫） 800 人 〕</p>
--

2 取組・方策

<p>○学びの館</p> <p>ものづくり教室を実施している。</p> <p>平成 28 年度：9 回実施</p> <p>平成 29 年度：11 回実施</p> <p>市民ギャラリーを実施している。</p>	<p>学びの館ものづくり教室（11 教室から抜粋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お手玉人形を作ろう</td> <td>7/22</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>わたしのうつわを作ろう</td> <td>8/19</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>水墨画年賀状 戌を描く</td> <td>11/18</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	教室名	実施日	参加者数	お手玉人形を作ろう	7/22	32	わたしのうつわを作ろう	8/19	17	水墨画年賀状 戌を描く	11/18	9
教室名	実施日	参加者数											
お手玉人形を作ろう	7/22	32											
わたしのうつわを作ろう	8/19	17											
水墨画年賀状 戌を描く	11/18	9											
<p>○大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）</p> <p>「六角紫水展」を開催した。</p> <p>歴史講座を開催した。</p>	<p>学びの館市民ギャラリー（13 展から抜粋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>展示名</th> <th>実施</th> <th>観覧者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古布で手遊び</td> <td>7 月</td> <td>408</td> </tr> <tr> <td>地元モデラーの模型展</td> <td>8 月</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>発泡スチロールアート展</td> <td>1 月</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>	展示名	実施	観覧者数	古布で手遊び	7 月	408	地元モデラーの模型展	8 月	290	発泡スチロールアート展	1 月	110
展示名	実施	観覧者数											
古布で手遊び	7 月	408											
地元モデラーの模型展	8 月	290											
発泡スチロールアート展	1 月	110											
<p>○両施設の事業についての P R を，</p> <p>広報，HP 等で行った。</p>	<p>大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施日</th> <th>観覧・参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>六角紫水展</td> <td>11/23-12/3</td> <td>926</td> </tr> <tr> <td>古文書解読講座</td> <td>2/25</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施日	観覧・参加者数	六角紫水展	11/23-12/3	926	古文書解読講座	2/25	21			
事業名	実施日	観覧・参加者数											
六角紫水展	11/23-12/3	926											
古文書解読講座	2/25	21											

3 評価

評価指標	来場者数
実績値（平成 28 年度）	学びの館：8,961 人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：770 人
目標値（平成 29 年度）	学びの館：9,000 人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：800 人
総合評価	学びの館 9,161 人 大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,111 人（内六角紫水展 926）

<p>○学びの館</p> <p>目標の 9,000 人に対し，実績は 9,161 人で目標を達成した。（101.7%）</p>
<p>○大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）</p> <p>目標の 800 人に対し，実績は 2,111 人で目標を達成した。（263.8%）</p>

4 改善策

<p>○学びの館市民ギャラリーをはじめ，事業の周知や施設の P R を強化する。</p>
--

平成 29 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	公共スポーツ施設の利用促進を図る。
短期経営目標	スポーツセンターのトレーニング室の利用者数増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

スポーツセンターのトレーニング室の利用者数増加を図る。（目標：8,000人）

2 取組・方策

- 運動機器の使用マニュアルに加え、トレーニングメニューを作成し、利用促進に努めた。
- トレッドミル1台を追加し、5台とした。
- トレッドミル導入に併せ、
広報で特集するなど、PR
強化に努めた。

施設紹介
スポーツセンター
トレーニングルーム

1 ルームランナー 4台
2 軽筋トレ器具 4台
3 油圧式筋トレ器具 3台
4 エアロバイク 1台

ルームランナー NEW 設置!
これを機会に
利用してみてください。

使用料
(1人1回)
一般 200円
60歳以上 100円
高校生以下 100円

▼休館日 毎週水曜日
▼開館時間 午前10時～午後10時
※日・祝日は午後5時まで

江田島市スポーツセンターには、いつでも自由に使えるトレーニングルームがあり、多くの方にご利用いただいております。もちろん初めての方も大丈夫。スタッフが使い方を教えてくれますので安心です。
「最近運動不足だな…」
「健康維持のために自分のペースで運動したい」とお思いの方は気軽に利用してみてください。

3 評価

評価指標	利用者数
実績値（平成28年度）	7,872人
目標値（平成29年度）	8,000人
総合評価	8,458人

○目標の8,000人に対し、実績は8,458人で目標を達成した。(105.7%)

4 改善策

- 引き続き施設のPRに努める。

平成29年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	図書館の充実を図る。																
短期経営目標	図書館年間貸出冊数の増加を図る。																
1 短期経営目標（具体）																	
図書館年間貸出冊数の増加を図る。（目標：114,000冊）																	
2 取組・方策																	
○2館2室合同の「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」を7月10日～9月30日まで実施した。																	
○ミニ図書館の開催場所を毎月の「広報えたじま」の図書館だより欄に、開催日時欄を設け、周知を図った。	ミニ図書館の実績 ※月2回																
○図書館だよりや行事案内を市内各小中学校，保育園，公民館，港ターミナル，子育て支援センター等に配布または掲示し，周知を図った。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>場 所</th> <th>利用人数</th> <th>利用冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津久茂児童館 (4・5・8月のみ1回)</td> <td>89</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>切串公民館 (4・5月のみ1回)</td> <td>196</td> <td>1,058</td> </tr> <tr> <td>三高会館 (4・5月のみ1回)</td> <td>155</td> <td>597</td> </tr> <tr> <td>市民サービスセンター (4・5月のみ1回)</td> <td>55</td> <td>137</td> </tr> </tbody> </table>		場 所	利用人数	利用冊数	津久茂児童館 (4・5・8月のみ1回)	89	303	切串公民館 (4・5月のみ1回)	196	1,058	三高会館 (4・5月のみ1回)	155	597	市民サービスセンター (4・5月のみ1回)	55	137
場 所	利用人数	利用冊数															
津久茂児童館 (4・5・8月のみ1回)	89	303															
切串公民館 (4・5月のみ1回)	196	1,058															
三高会館 (4・5月のみ1回)	155	597															
市民サービスセンター (4・5月のみ1回)	55	137															
○各館（室）に他館（室）のおすすめの本展示コーナーを設け利用促進を図った。																	
○子ども読書活動推進計画の取組として，子どもの日スペシャルを2館で実施した。また，各館（室）で毎月の読書関連事業や読書ボランティアによる本の読み聞かせ等を行っている。																	
○6月から12月の間，高学年を対象とした「子ども司書」養成講座を，学校や2図書館1図書室を会場に，全体，実地研修及び秋の活動を実施し，受講者15名全員が，認定書を2月24日に授与された。																	
3 評価																	
評価指標	年間貸出冊数																
実績値（平成28年度）	103,767冊																
目標値（平成29年度）	114,000冊																
総合評価	100,581冊																
○貸出冊数：100,581冊（88.2%）で目標値を下回った。																	
4 改善策																	
○借りやすい環境整備として，返却等が可能となる市内施設の拡充を図る。																	

3 外部評価委員の意見

外部評価委員名簿

	氏名	備考
委員長	田丸 正実	学校関係者 (元鹿川小学校校長)
副委員長	藤本 真砂子	社会教育関係者 (社会教育委員)
委員	平根 眞澄	市関係者 (元江田島市教育委員会教育 総務課長)

(1) 教職員の服務規律の厳正確保を図る

「教職員による不祥事を0（ゼロ）にする」という目標に対して、市内の教職員一人一人はこのことを深く受け止め、継続的な研修がなされていた。また、服務規律に対する認識が高まっているといえる。その結果、ここ数年間不祥事が生起していないことを高く評価したい。特に、教育委員会から校長、教頭・事務長会議等において「服務規律の確保」に関する内容の講話等の実施は、管理職のみならず各学校での服務研修等に生かされたものになっている。さらに、管理職による定期の面談や市内で生起した事案の研修等、こうした継続した取組みは、不祥事「ゼロ」が実現できた要因の一つでもあろう。

今後、県内・県外において生起した不祥事事案についても研修等で取り入れてみてはどうだろうか。また、体罰等についての全校児童生徒・教職員へのアンケートを始め、保護者アンケートが新たに導入されたことは注目すべきことである。学校と家庭との更なる連携に期待する。

これからも不祥事「ゼロ」が継続されることをお願いしたい。

(2) 児童生徒の学力の向上を図る

昨年度までは広島県「基礎・基本」定着状況調査（タイプⅠ）について目標

設定していたが、学力の向上が図られたことから、今年度から「習得した知識・技能を活用する力を向上させる（タイプⅡ）」を新たに目標設定し取り組もうとするものである。基礎的・基本的な知識・技能がある程度定着してきたことが伺え、より高い目標を掲げての取組みに教育委員会や学校の姿勢・意欲が強く感じられる。高い目標数値（県平均通過率より5ポイント以上、上回る）を設定しているのもその現れである。小学校では全教科、中学校では国語・数学が目標を達成することができなかったが、県平均を小学校・中学校ともに上回り、着実に学力が向上している。このことは、教育委員会が主催する研修会での指導を始め、「学びの変革」推進協議会を設置し、課題発見・解決学習等の授業改善などの取組みがなされたことも要因の一つである。

「習得した知識・技能を活用する力」が育成されれば、「生きて働く学力」につながるであろう。主体的な学びを促すための授業改善を行うために、教職員一人一人の更なる職能成長に期待したい。

今後は、広島県「基礎・基本」定着状況調査に代わっての方策及び評価指標などの設定が必要になるが、今まで積み上げてきた学力向上へ向けたスタンスは継続して欲しい。

（3）児童生徒の豊かな心を育成する

新たな短期経営目標「不登校児童生徒数を減少させる」ことを掲げている。生徒指導上の諸問題に対して、未然防止の取組みや児童生徒の心に寄り添う生徒指導の在り方など、外部講師を招聘し研修が実施されていた。さらに、いじめ撲滅へ向けた取組みも各校でなされていた。常に危機感を持ちながら素早い対応ができていると感じている。

不登校児童生徒についても、個々の家庭と連携しながら取り組まれていた。状況によっては、関係機関との連携も必要になってくるだろう。スクールカウンセラーからの助言も参考にされていると思うが、生徒指導主事を中心とした組織的な体制で臨んで欲しい。

なお、教育委員会は、状況によって人的措置について配慮をお願いしたい。

(4) 江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる

新たな短期経営目標「学校給食に地場産品の使用割合を増加させる」ことを掲げている。市内で生産された様々な食材を使った献立によって、児童生徒は地場産品を知ることができる。このようなことを通じて、江田島の「よさ」に気づいて欲しいと願っている。「おいしい江田島の給食」の実施は、誰もが楽しみにしている献立である。さらに、「えたじまん食育レシピ」「ひろしま給食100万食プロジェクト」などへ参加し、創意工夫した試みがなされていた。

地域の食材を活用し、これからも児童生徒が楽しみにする給食になるようお願いをしたい。

(5) 歴史資料館の活性化を図る

学びの館、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数は、目標値を上回る結果であった。このことは教育委員会主催による「六角紫水展」の開催や歴史講座などによるものである。さらに、ものづくり教室・市民ギャラリーなどの実施回数を増やしたことも要因となっている。事務局の積極的な取組みがなされたためであろう。担当者の高い企画力を評価したい。

今後は、他地域の施設運営・企画などを参考にし、市外からも参加できる魅力ある内容の企画を期待したい。専門機関や学芸員などからのアドバイスも取り入れることも一方法であろう。

(6) 公共スポーツ施設の利用促進を図る

新たな短期経営目標として「スポーツセンターのトレーニング室の利用者数増加を図る」ことを目指した取組みがなされていた。その結果、目標値を上回る利用者があった。トレッドミルを追加したことや、広報えたじまで周知したこと等、利用者促進に努めたためである。利用者の多くはシニア層で健康保持を目的に活用していると推測される。健康教室など、他部署との共同開催も視野に入れ検討して欲しい。また、空き時間等の情報等を含めたPR活動を望む。

今後、利用者が更に増えるための方策を実施し、市民が気軽に集える場になることを願う。

(7) 図書館の充実を図る

貸出冊数の目標値は達成できなかったものの、数多くの取組みがなされていた。とりわけ、小学校高学年を対象とした「子ども司書」養成講座において15人全員が認定書を授与されたことは注目すべきことである。また、「子どもの日スペシャル」として読書活動が実施されるなど、読書関連事業が着実に取り組まれていたことが伺えた。そうした中、貸出冊数が増えていない現状を分析することも大切ではないだろうか。

これからも多くの市民が、気軽に利用でき、コミュニティの場としても活用できることを願っている。

総合評価について

今回、短期経営目標に基づく7事業に対して意見を付した。

昨年度は中期経営目標が最終年で、3年間教育委員会が重点的に取り組まれている施策が確実に展開されていた。今年度からは、中期経営目標は2項目が新たな事業となった。短期経営目標は4項目が新たに評価指標として揚げられた。各事業の目標値は昨年度を踏まえながら高い数値になっている。このことは、江田島市教育委員会経営計画に基づいた施策が着実に実施された結果であるといえる。また、教育委員会事務局職員一人一人の仕事に対する強い意気込みの現れであると感じた。このことは高く評価したい。

各学校では、「学びの変革」へ向けての研修や教育実践を積み重ねている現状である。校長を中心とした組織や研修体制も整っている中、各学校にとどまるのではなく、江田島市教育が更なる発展に繋がるような実践を期待したい。

新たな中期経営目標を設定し取組みが始まったが、従来に固執するのではなく、斬新さやアイデアなどの発想を大切に事業展開に期待している。また、少子高齢化社会を迎えた今日、将来へ向けたビジョンの策定を強く望むものである。

今後の更なる充実・発展を期待する。

4 その他

(1) 教育委員会の活動状況

ア 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
教育長	御堂岡 健	男	行政関係者
教育長職務代理者	三島 雅司	男	元行政関係者
委員	樋上 美由紀	女	元教育関係者
委員	柳川 政憲	男	自営業者・保護者
委員	今井 絵里子	女	保護者

イ 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回, 臨時会 1回

そのうち 6月19日(月) 三高中学校訪問

12月18日(月) 江田島市スポーツセンター, 能美図書館

2月19日(月) 切串小学校訪問

ウ 教育委員会会議の議決事項

番号	期日	種別	件名
1	4月3日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度江田島市教育委員会経営計画及び自己評価表 江田島市教育委員会の職員の任免
2	4月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令案 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
3	5月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会教育長の勤務時間に関する規則案 高齢者叙勲候補者(教育功労)の推薦 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校の職員の任免
4	6月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会事務点検・評価報告書(平成28年度事業対象) 平成30年度に市立学校で使用する教科用図書の採択基本方針案 平成29年度江田島市一般会計(第2号)補正予算(教育委員会関係分) 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
5	7月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育支援委員会委員の委嘱 江田島市教職員住宅設置及び管理条例を廃止する条例案 江田島市鷺部教職員住宅管理規則を廃止する規則案 江田島市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則案 江田島教科用図書採択地区選定委員会委員及び調査員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免

6	8月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案 ・請願書（2018年度使用小学校道徳教科書の採択に関する要望及び請願） ・平成30年度に市立小学校で使用する「特別の教科 道徳」教科用図書の採択 ・平成30年度に小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択 ・教育委員会の附属機関の委員の委嘱等 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
7	9月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年秋の叙勲候補者（教育功労）の推薦 ・平成29年度広島県教育賞被表彰候補者の推薦 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免 ・平成29年度江田島市一般会計（第3号）補正予算（教育委員会関係分）
8	10月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
9	11月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立学校設置条例の一部を改正する条例案 ・江田島市教育委員会公印規則等の一部を改正する規則案 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
10	12月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案 ・平成30年度に市立小学校特別支援学級で使用する「特別の教科 道徳」教科用図書の採択 ・平成29年度江田島市一般会計（第5号）補正予算（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
11	1月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
12	2月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例案 ・江田島市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例案 ・江田島市教育委員会公印規則等の一部を改正する規則案 ・江田島市大柿公民館図書室管理運営要綱の一部を改正する告示案 ・平成29年度江田島市一般会計（第6号）補正予算（教育委員会関係分） ・平成30年度江田島市一般会計予算（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
14	3月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱 ・教育委員会の附属機関の委員の委嘱 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免 ・江田島市教育委員会の職員の任免

(2) 教育委員会委員の活動

ア 研修会への出席

期日	件名	場所	出席者
4月12日	第1回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
4月24日	広島県都市教育長会春の総会	福山市	教育長
5月18～19日	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	奈良市	教育長
5月29日	第1回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	呉市	教育長
5月30日	広島県市町教育委員会連合会定期総会	広島市	教育長
7月10日	女性教育委員グループ総会並びに第1回研修会	広島市	委員2名
7月26日	第2回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	呉市	教育長
7月20日	中国地区市町村教育委員会連合会研修大会	東広島市	教育長 委員2名
10月6日	広島県都市教育長会秋の総会	三次市	教育長
10月19～20日	中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会	松江市	教育長
10月24日	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会	広島市	教育長 委員1名
11月2日	女性教育委員グループ第2回研修会	東広島市	委員2名
11月17日	市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）	那覇市	教育長
12月20日	第3回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	呉市	教育長
1月16日	市町村教育委員研究協議会	大阪市	委員1名
1月23日	第2回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
2月21日	女性教育委員グループ第3回研修会	広島市	委員2名

イ 式典への出席

小中学校入学式及び卒業証書授与式における教育委員会告辞

ウ その他

各委員による学校行事をはじめ教育委員会所管施設の各種行事への参加，各種委員としての参加

平成 29 年度江田島市教育委員会 経営計画

I ミッション

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II ビジョン

【児童生徒像】

○ 生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」がバランスよく育成され、その水準が向上している。

【学校像】

○ 組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

○ 文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

【教育委員会像】

○ 報告・連絡・相談による情報共有を適切に行い、組織的に対応している。

○ クイックレスポンス（すばやい対応）ができています。

III 現状分析

【学校教育】

○ 教職員の懲戒処分については、平成 28 年度は発生していない。（平成 27 年度も発生していない。）

○ 広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率（タイプⅡ）において、平成 28 年度は小学校ですべての実施教科で県平均を上回ったが、中学校英語では県平均を 1.9 ポイント下回っていた。（平成 27 年度は、小学校算数（▲0.6 ポイント）、中学校国語（▲7.5 ポイント）、中学校数学（▲0.7 ポイント）、中学校理科（▲2.3 ポイント）、中学校英語（▲6.2 ポイント）で県平均を下回った。）

○ 生徒指導上の諸問題において、平成 28 年度は、中学校の不登校生徒の割合は 1.60%（7 人）である（平成 27 年度 県 2.60% 本市 1.75%）。小学校は発生していない。（平成 27 年度 県 0.45% 本市 0.00%）

○ 学校給食の地場産品の使用割合は、県平均を上回っている。
（平成 28 年度 県 30% 本市 34%）

【生涯学習】

○ 学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成 28 年度の来場者については、学びの館 8,961 人（平成 27 年度 8,486 人）、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）770 人（平成 27 年度 692 人）である。

○ スポーツセンタートレーニング室の平成 28 年度の利用者数は、7,872 人（平成 27 年度 6,600 人）である。

○ 図書館の年間貸出冊数は、平成 28 年度 103,767 冊（平成 27 年度 110,572 冊）である。

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト(改訂版)」のすべての項目において、その質が向上するよう、具体的に指導・助言する。 ○ 年間3回の計画訪問を行い、授業改善等について、指導力向上に係る指導・助言する。 ○ ICT活用事業(市町挑戦加配)、理科教育推進事業(市町挑戦加配)、外国語指導事業を実施する。 ○ 学力向上に関する先進校を視察する。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を児童生徒主体の「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。 ○ 道徳教育推進教師等を対象とした市主催研修(心の教育担当者研修会)を実施する。 ○ 教育相談体制の充実を図るため、スクールカウンセラー等を招聘し、市主催研修を実施する。
	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。	学校給食の地場産品の使用割合を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食材を発注する際、地場(県内)産品を指定する。 ○ 市内の生産者に計画的に食材を発注する。 ○ 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用する。 ○ 市長部局(健康推進課)と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。 ○ 学校給食だよりで周知する。
生涯学習	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画展「六角紫水展(仮称)」を行う。(大柿地区歴史資料館) ○ 古写真収集事業の窓口とし、写真の展示を行う。 ○ 市民ギャラリーや文化財等の展示企画を充実させる。 ○ ものづくり教室の充実を図る。(学びの館) ○ 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。
	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	スポーツセンターのトレーニング室の利用者数増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ トレッドミル1台を追加し、5台とする。 ○ 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 ○ トレーニング室を利用した健康教室を行う。 ○ 広報等の活用により、PR強化を図る。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 読書記録をためるための「読書貯金通帳」(大人・子ども用)を配布する。 ○ 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座の参加者を増やし実施する。 ○ 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成するなど、PRの強化を図る。

平成 29 年度 自 己 評 価 表 [最 終]

江田島市教育委員会

	中期経営目標	短期経営目標	評 価 項 目	評価指標	実績値	目標値				評 価 (自己評価の結果)	改 善 策
					平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度			
学 校 教 育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	○ 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。	懲戒処分件数	0件	0件	0件	0件	0件	なし	
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	○ 「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト(改訂版)」のすべての項目において、その質が向上するよう、具体的に指導・助言する。 ○ 年間3回の計画訪問を行い、授業改善等について、指導力向上に係る指導・助言する。 ○ ICT活用事業(市町挑戦加配)、理科教育推進事業(市町挑戦加配)、外国語指導事業を実施する。 ○ 学力向上に関する先進校を視察する。	広島県「基礎・基本」定着状況調査(タイプII)の平均通過率	小5 国(+10.6) 算(+4.1) 理(+5.6) 中2 国(+6.2) 数(+3.4) 理(+0.7) 英(+1.9)	すべての実施教科で県平均を5ポイント以上、上回る。	すべての実施教科で県平均を7ポイント以上、上回る。	すべての実施教科で県平均を9ポイント以上、上回る。	小5 国(+3.0) 算(+4.2) 理(+3.8) 中2 国(+0.9) 数(+1.7) 理(+5.1) 英(+5.7)	○ 「学びの変革」推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について助言を行う。 ○ 各校で学力調査を実施・活用させ、学力の定着・課題の克服が図られるよう指導助言を行う。	
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒数を減少させる。	○ 9月を児童生徒主体の「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。 ○ 道徳教育推進教師等を対象とした市主催研修(心の教育担当者研修会)を実施する。 ○ 教育相談体制の充実を図るため、スクールカウンセラー等を招聘し、市主催研修を実施する。	不登校児童生徒の割合	小:0.00%(0人) 中:1.60%(7人)	小:0.00%(0人) 中:1.24%(5人)	小:0.00%(0人) 中:1.01%(4人)	小:0.00%(0人) 中:0.73%(3人)	小:0.12%(1人) 中:2.73%(11人)	○ 市主催研修(管理職、生徒指導主事等対象)において、生徒指導体制の確立における講話を行う。 ○ 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席の日数が30日を超える前の段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。	
	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。	学校給食の地場産品の使用割合を増加させる。	○ 食材を発注する際、地場(県内)産品を指定する。 ○ 市内の生産者に計画的に食材を発注する。 ○ 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用する。 ○ 市長部局(健康推進課)と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。 ○ 学校給食だよりで周知する。	地場産品の使用割合	34%(県平均30%)	36%	38%	40%	41.6%	○ 産業部産業企画課と連携し、地場産品を使用した献立を作成する。 ○ 地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。	
生 涯 学 習	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	○ 企画展「六角紫水展(仮称)」を行う。(大柿地区歴史資料館) ○ 古写真収集事業の窓口とし、写真の展示を行う。 ○ 市民ギャラリーや文化財等の展示企画を充実させる。 ○ ものづくり教室の充実を図る。(学びの館) ○ 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。	来場者数 (学びの館) (大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫))	8,961人 770人	9,000人 800人	9,100人 850人	9,200人 900人	9,161人 2,111人	○ 学びの館市民ギャラリーをはじめ、企画展等事業の周知や施設のPRを強化する。	
	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	スポーツセンターのトレーニング室の利用者数増加を図る。	○ トレッドミル1台を追加し、5台とする。 ○ 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 ○ トレーニング室を利用した健康教室を行う。 ○ 広報等の活用により、PR強化を図る。	利用者数	7,872人	8,000人	8,300人	8,600人	8,458人	○ 引き続き施設のPRに努める。	
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	○ 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 読書記録をためるための「読書貯金通帳」(大人・子ども用)を配布する。 ○ 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座の参加者を増やし実施する。 ○ 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成するなど、PRの強化を図る。	年間貸出冊数	103,767冊	114,000冊	115,000冊	116,000冊	100,581冊	○ 借りやすい環境整備として、返却等が可能となる市内施設の拡充を図る。	